

令和4年11月第7回定例会一般質問通告表

質問日	順番	質問者	質問方式	質問内容	録画放送 予定日
11月30日 (水)	1	橘 大介	一問一答	(1) 弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合の行動について (2) どうなる？松阪公民館と新型コロナワクチン集団接種会場	12月7日 (水) 午後8時～
	2	濱口 高志	一問一答	(1) 公共施設マネジメントについて (2) コロナ対応の方向性について (3) 投票しない権利とは	
	3	松本 一孝	一問一答	(1) 危機管理に関すること (2) 観光に関すること (3) 橋梁に関すること	
	4	深田 龍	一問一答	(1) 松阪市の人口減少対策の“今” (2) フルマラソン直前！スポーツ振興を問う (3) 今後の一次救急のあり方を議論すべき時	
	5	久松 倫生	分割	(1) コロナ禍と物価高から市民生活をまもる課題について (2) 会計年度任用職員制度の改善について (3) 移住促進と学校教育の課題について	12月8日 (木) 午後8時～
	6	西口 真理	一問一答	(1) 障がい者支援体制の整備と、関係機関の連携強化のために ①「松阪市障害者地域自立支援協議会」はこれでいいのか ②市の役割は果たしているか (2) 相談窓口の充実のために ①重層的支援の実現を目指して ②職員のスキルアップと人材育成を	
	7	小野 建二	一問一答	(1) 認知症対策について (2) 公共施設に冷水機の設置を	
	8	吉川 篤博	一問一答	(1) 学校教育の充実について ①小中学校の適正規模・適正配置について ②外国人児童・生徒の教育について (2) スポーツと連動したまちづくりの推進について ①スポーツ施設の改修計画の進捗状況と今後の見通しについて	

令和4年11月第7回定例会一般質問通告表

質問日	順番	質問者	質問方式	質問内容	録画放送 予定日
12月2日 (金)	9	東村 佳子	一問一答	(1) 松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例施行10周年を迎える2024年に向けて (2) 文化施設と新しい表現の在り方 (3) 街なかのフリーWi-fiって使いやすい？	12月9日 (金) 午後8時～
	10	松岡 恒雄	一問一答	(1) 発達性読み書き障害（ディスレクシア）について (2) 学校施設の安全で快適なトイレ整備等について ①学校トイレの洋式化にあわせた多目的トイレ等の整備促進 ②安全で安心な避難所トイレの整備 (3) 松阪市みんなでまちをきれいにする条例について	
	11	市野 幸男	一問一答	(1) 第一次産業従事者への補助・支援について (2) 鎌中地域交流センターの活用と位置づけ	
	12	小川 朋子	一問一答	(1) 空き家対策に関する情報提供について (2) 学習支援に関する情報提供について (3) ワクチン接種に関する情報提供について (4) マスク着脱に関する情報提供について	
	13	海住 恒幸	一問一答	(1) 松阪市民病院のあり方 (2) 市長は、飯高地域の風力発電計画反対請願の議会採択を尊重するか	12月12日 (月) 午後8時～
	14	楠谷 さゆり	一問一答	(1) 今ある資源で飯南飯高にもっと活力を (2) みえ松阪マラソンの成功を祈って	
	15	殿村 峰代	一問一答	(1) 松阪市職員のハラスメントと労働者の人権に関しての現況と対策 (2) コロナ禍の成人期以降の健康づくりにおける松阪市の方向性 (3) 次回、介護保険制度改定に関する松阪市としての考え方	

令和4年11月第7回定例会一般質問通告表

質問日	順番	質問者	質問方式	質問内容	録画放送 予定日
12月6日 (火)	16	野呂 一平	一問一答	(1) 需要と供給のマッチング (2) 松阪市の区割りについて考える	12月13日 (火) 午後8時～
	17	中村 誠	一問一答	(1) 大学誘致に関する事 (2) 小規模修繕工事に関する事	
	18	坂口 秀夫	一問一答	(1) 松阪市みんなでまちをきれいにする条例はどのように生かされているのか (2) 貸与型奨学金制度の創設について (3) 市民の資格試験料への助成制度の創設について	
	19	奥出 かよ子	一問一答	(1) 学校等における、てんかん発作時の対応について (2) 子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについて (3) マイナンバーについて	12月14日 (水) 午後8時～
	20	田中 正浩	一問一答	(1) 市民に説明がつかない「松阪の逸品クーポン」について (2) 必ず限界が来る「自治会の防犯灯管理」について (3) 市内4カ所、3億7千万円の太陽光発電設備設置の入札中止について	
21	森 遥香	一問一答	(1) 子育て経験有無に限らず、まちぐるみで子どもと子育てを支える松阪へ向けて (2) 誰もが平等にまちづくりの主人公であるために ①市民意識調査について ②デジタル格差解消について ③市民の誰もがまちづくりの当事者となる方法は？		

【質問方式】 総括(0人)、一問一答(20人)、分割(1人)、計(21人)

※分割方式では、「…」が第1回目の答弁を求める箇所

【執行部答弁席】 総括及び分割方式における答弁について、1回目は登壇し、2回目以降は自席にて行う。
また、一問一答方式の答弁は、すべて自席にて行う。